

148.5mm

148.5mm

210mm



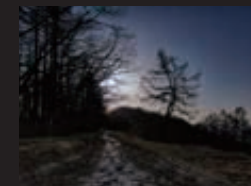
多摩川源流の郷
た・ぼ・や・ま

山梨県の北東の端、
東京都と埼玉県の県境に
丹波山村はある。
村のほとんどが山林地帯で
秩父多摩甲斐国立公園に属している。
美しい渓谷美を見せる丹波川は、
奥多摩湖のさらに上流に遡る。
多摩川という名称は、
丹波川に由来するという説もある。
国道411号(青梅街道)は
丹波川と平行して走り、
流域沿いの河岸段丘上や
傾斜地に集落が点在している。
北に飛竜山(2077m)と、
雲取山(2017m日本百名山)。
南に大菩薩嶺(2057m)を
擁した山里である。



た・ぼ・や・ま

丹波山



山梨県の最北東部
東京と埼玉県境
多摩川の上流に丹波山村はある
村の人口は約600人
最も小さい村の一つである



丹波山

多摩川源流の郷
聖域を訪ねる



丹波山村の一年の始まりを告げる村の冬の一大行事「お松曳き」
修羅とよばれるソリに門松を払う行事で、日本唯一の奇祭。



夏の風物詩祇園祭
「ささら獅子舞」
(県指定無形文化財)



丹波山のおもてなし
文化と自然と舌鼓

小さな村だからこそ少人数だからこそ
繋げていかなければならないコトがある。
人の暮らしの原点の大切な「もてなし」の心



豊かな山に抱かれた
青梅往還の宿場町

村は山の中にある。北に雲取山(2017m)と飛竜山(大洞山)2077m。
南に大菩薩嶺の2057mが最高地点で、村は最も低い535mあたりに広がっている。
甲州方面から奥多摩へ向かう甲州街道の裏街道であった青梅往還は、大菩薩峠を越えると分岐し、
丹波宿に至る。
戦国期には武田信玄による金鉱採掘が、丹波川上流の黒川金山(鶏冠山)で行われており、
金山衆(近郊採掘者)などで当時は賑わいをみせていたのに違いない。



村民と観光客で力を合わせて修羅を曳く



原木舞茸ほうとう



鹿そぼろ



鹿なべ